

防府に

イマココ!

～「マイマイ新子」の舞台探訪～

内容見本



目次

- 3 くまちゃんのひとりマイマイ探検隊! (押井徳馬)
- 12 「ひとりマイマイ探検隊」ストーカー参加(ちよっぴりですが…) (++)
++
- 14 ホントに来ちゃった防府まで (MOOK)
- 16 マイマイ新子と夏の旅 (山川 敬之)
- 18 マイマイ新子と千年の魔法 微笑みの考察 (NORANEKO-mama)
- 19 透明なスクリーン——『マイマイ新子と千年の魔法』における想像力の場にまつわる
素描 (縄田 陽介)
- 23 イラスト (silver_copper)
- 24 「子供の時間」(親友がブラック新子ちゃんだった件) (++)
++
- 26 舞台探訪と「想像力の相乗効果」(押井徳馬)
- 27 あとがき・奥付

「マイマイ新子をテーマにした本を作るよ!」

インターネットで呼びかけて、一人また一人と集まった、山口県防府市から4名、県外から3名。
「マイマイ新子」の大ファンの7人が、作品や舞台探訪の魅力を語ります。



マイマイ新子と千年の魔法ラリー@はてなココ
<http://htn.to/oNixBH>

5 潮騒市場 防府

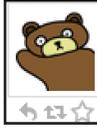
くまちゃんの

ひとりマイマイ探検隊!

よし!行くぞ!



Twitter(ツイッター)で宣言してみました。



10/17に関西コミティアで大阪に行くので、どうせ房総半島を離れて西に行くなら、ものはついで、10/16に防府に行ってみようかと思いつ。名付けて「ひとりマイマイ探検隊」。[#maimai_shinko](#)

[osito_kuma](#)

2010-10-09 21:30:32

ここ行くといいよ!

あの場所もいいかも!



すると、いろんな方が役に立つアドバイスをしてくださいました。そのアドバイスを参考に、旅行の計画と持ち物の準備。初めての飛行機での一人旅です。

ひ…ひとりじゃなくなっちゃった!



@osito_kuma さん、防府来訪お待ちしております。もし宜しければ「ひとりマイマイ新子探検隊」ご一緒させて下さい。(但しその場合二人探検隊になってしまうのが玉に傷) 自転車でも車でも大丈夫です。[#maimai_shinko](#) [#hofu](#) [#yamaguchi](#)

[haruna_maichi](#)

2010-10-15 22:02:20



旅立ちの前日、防府在住の方からこんなうれしいお申し出が…って、「ひとり探検隊」のつもりが「ふたり探検隊」になる、うれしい誤算。ご厚意に甘えることにしました。

羽田から飛行機で山口宇部空港へ。防府上空を通過すると、松崎小学校の校庭らしき場所に車がいっぱい停まってる!? この謎が解けるのは、この日の夕方のこと。



はじめまして!



トットヨペットクラウン初期型!? ※ウソです

防府駅でお会いした@haruna_maichiさんと、車&徒歩で、マイマイ新子のふるさとを巡る旅に出発です! 旅の様子は、カメラ付きGPS携帯を使って、Twitterでも実況!



用語解説 「マイマイ新子と千年の魔法」って、なんだ?

山口県防府市出身の芥川賞作家、高樹のぶ子の自伝的小説「マイマイ新子」を原作とした、2009年11月公開のアニメ映画です。昭和30年(1955年)の防府を舞台に、空想と歴史が好きでおてんばな小学三年生の「新子」と、東京から来た物静かな転校生「貴伊子(きいこ)」、そして仲間たちの友情を描いています。

ちなみに「マイマイ」とはカタツムリのことじゃなくて、山口弁で「つむじ」の事。新子ちゃんはおでこにあるマイマイがトレードマークです。また、「魔法」とありますが、主人公は魔法少女ではなく普通の女の子です(まあ、ものたえです)。

当初客があまり集まらなかったものの、ブログやTwitter等の口コミで次第に評判が広まっていき、上映の署名活動が行われるまでになりました(その模様はNHK-BSの「MAG・ネット」という番組でも特集されました)。本書執筆時点(2010年11月)に至ってもなお、全国あちこちの会場で上映されています。

また、野外上映会や、防府の街を片瀬須直監督と一緒に実際に足で歩いて回る「マイマイ新子探検隊」というイベントも何度か開かれました。DVDも販売中・レンタル中。





貴伊子の社宅のモデル。今はカネボウ引込線も当時の社宅も残っていませんが（現在は別の会社）、昔の面影だけは残っていました（なお、社有地の敷地内については、入るのに許可が必要です。今回は手前まで）。貴伊子の通う松崎小学校からは、2キロ半以上の長い道のり。子供の足だと50分くらいかかったかもしれません。健脚貴伊子ちゃんの秘密は毎日の特訓にあり!?

美しい海の景色が見渡せるスポットです。諾子(なぎこ)の乗った船が今にもこちらに渡ってきそうな、そんな風景!



埋立地の先にある、海産物のお店&レストラン。ふたりで一旦昼食!

東側には大平山(おおひらやま)が見えました。作品の舞台となった昭和30(1955)年には、山の頂上には木があるのみでした。それから4年後、今の防府市民に見慣れた風景である、テレビの送信塔が立ちました。



用語解説 イマココって、何なん?

GPS内蔵の携帯などを使って、位置情報、つまり「自分が今どこにいるのか」を、インターネットに書き込むことです(これを「イマココする」と言います)。「Foursquare」「mixiチェックイン」など様々なサービスがありますが、ここでは、今回の旅で私が使ってみた「はてなココ」を紹介します。

「はてなココ」は、GPS内蔵の携帯を使って、自分が今いる場所を、コメントや写真付きでインターネットに公開することのできるサービスです。まるでオリエンテーリングやウォークラリーのように、決められたスポット(山手線の全駅とか、数え歌になっている京都の通りなど)を一つずつ訪れて完全制覇を目指す「ラリー」や、イマココするたびにTwitterでみんなに知らせる機能も付いています。

はてなココ <http://c.hatena.ne.jp>



なお、「マイマイ新子と千年の魔法ラリー」も作成してみました。 <http://htn.to/oNixBH>



⑥ 周防国衛跡

すおうこくが

ここが一番の目的地！
映画では、石碑の前にドカンのおじさんが来て、ボン菓子を作ってくれたり、みんなで死んだ金魚のお葬式をしたりしていました。
これは、ここに周防国の国府(国を治める役所)があった事を伝える石碑です。
昭和十二(一九三七年)に国の史跡に指定されています。今では奥が公園のような広場になっています。
なお、最近また発掘調査が行われているようです。

『金魚のひづるの墓』を発見！
『マイマイ新子探検隊』イベントがある日に出現するらしいけど、今日もなぜか出現!?



⑦ 国衛バス停

こくが

「ここでも国衛(こくが)の停留所よ!」と新子が言っていた場所は、今でもバス停になっています。「国衛」が地名に残っていることが、ここがかつて周防国の国府が置かれていたことを今に伝えてくれます。
下の写真は、近年発掘調査が行われた場所。新子が発掘作業をしているおじさんに「あの、何しよってんですか?」と聞いている場面のモデルだそうです。



新子ちゃんの『今』(昭和30年)も、私たちの『今』(平成22年)も、国衛の停留所!



道は舗装されて、麦畑の代わりに新しい店や住宅が建っても、右奥の店どかまっすぐな水路は、映画の舞台である昭和三十年と同じ風景のまま、感激!

